

| | | | |
|--|---------|-----|--------|
| 開講期間 | 配当年 | 単位数 | 科目必選区分 |
| 通年 | 1・2・3学年 | 6単位 | 必修 |
| 担当教員 | | | |
| 伊豆上 智子 岡村 典子 堀江 正男 神田 清子 石田 和子 高柳 智子 樺澤 三奈子 常盤 洋子 小長谷 百絵 高林 知佳子 谷本 千恵 徐 淑子 永吉 雅人 | | | |
| 添付ファイル | | | |

| | | |
|------|---|--|
| 授業種類 | 【開講】 通年 | 【授業時間】 180時間 |
| | 【担当教員】 | |
| | 【氏名】 伊豆上 智子 岡村 典子 堀江 正男 神田 清子 石田 和子 高柳 智子 樺澤 三奈子 | 【所属】 新潟県立看護大学 同上 同上 同上 同上 同上 同上 |
| | 【氏名】 常盤 洋子 小長谷 百絵 高林 知佳子 谷本 千恵 徐 淑子 永吉 雅人 | 【所属】 新潟県立看護大学 同上 同上 同上 同上 同上 |
| | 【本学の科目区分】 特別研究 | |

| | |
|------|--|
| 到達目標 | 専攻する領域において、個々の興味・関心に従いこれまでの学修成果を活用して研究課題の焦点化をはかり、研究方法を決定し、研究計画書を作成する。研究計画に基づくデータ収集・分析、論文作成、発表、評価に至るまでの一連の研究過程を通し、看護学研究成果を創出・発信する。また、研究者として自立して研究活動を行い、専門的な業務に従事するために必要な研究能力と看護専門職としての研究的態度を修得する。 |
|------|--|

| | |
|------|--|
| 授業概要 | 博士論文の作成等に関する指導は、研究指導教員と研究指導補助教員による複数指導体制を原則とする。研究指導教員は、研究課題の設定から研究計画書の作成、データ収集、論文作成と発表に至る全過程を直接指導する。 |
|------|--|

| | | |
|------|------|---|
| 授業計画 | 1～90 | <p>授業形態：演習 【看護システム・ケア開発学分野】</p> <p>伊豆上 智子 看護システム・ケア開発学分野を専攻した学生の特別研究指導を行う。 ■主な研究課題 (1)看護サービスのマネジメントに関する研究 (2)看護に関わる情報の管理および活用に関する研究</p> <p>岡村 典子 看護システム・ケア開発学分野を専攻した学生の特別研究指導を行う。 ■主な研究課題 (1)看護における人間関係に関する研究 (2)看護におけるケア、及び看護技術に関する研究</p> <p>堀江 正男 看護システム・ケア開発学分野を専攻した学生の特別研究指導を行う。 ■主な研究課題 (1)インターネット・ゲームの効果的な使用方法に関する生理学的研究 (2)依存症に関する研究</p> |
| | 1～90 | <p>授業形態：演習 【臨床実践看護開発学分野】</p> <p>神田 清子 臨床実践看護開発学分野を専攻した学生の特別研究指導を行う。 ■主な研究課題 (1)がん患者の症状マネジメントに関する介入研究 (2)がんサバイバーの適応に関する心理・社会的尺度の開発 (3)がん看護学の教育的支援に関する評価研究</p> <p>石田 和子 臨床実践看護開発学分野を専攻した学生の特別研究指導を行う。 ■主な研究課題</p> |

| | |
|-----------------|---|
| | <p>(1)がん患者の症状緩和・心理的支援への効果的な看護介入 (2)がん患者・家族の症状、精神・心理尺度の開発 (3)がん患者・家族のケアニーズと支援システムの構築</p> <p>高柳 智子 臨床実践看護開発学分野を専攻した学生の特別研究指導を行う。 ■主な研究課題 (1)急性状況にある患者へのケア技術に関する研究 (2)リハビリテーション看護の専門性に関する研究 (3)看護援助技術における実証的研究</p> <p>樺澤 三奈子 臨床実践看護開発学分野を専攻した学生の特別研究指導を行う。 ■主な研究課題 (1)がん患者のセルフマネジメントを支援するための看護介入に関する研究 (2)がん看護に携わる臨床看護師を支援するための教育に関する研究</p> <p>1～90 授業形態：演習 【次世代育成看護開発学分野】</p> <p>常盤 洋子 次世代育成看護開発学を専攻した学生の特別研究指導を行う。 ■主な研究課題 (1)母性意識の形成・発達と看護支援に関する研究 (2)育児期の母親支援のプログラム開発とその評価に関する研究 (3)母性看護学・助産学教育に関する研究</p> <p>1～90 授業形態：演習 【地域包括ケア看護開発学】</p> <p>小長谷 百絵 地域包括ケア看護開発学分野を専攻した学生の特別研究指導を行う。 ■主な研究課題 (1)高齢者の尊厳を守る看護支援に関する研究 (2)家族の介護に関する研究</p> <p>高林 知佳子 地域包括ケア看護開発学分野を専攻した学生の特別研究指導を行う。 ■主な研究課題 (1)地域包括ケアシステムの構築に関する研究 (2)地域の健康課題に関する研究</p> <p>谷本 千恵 地域包括ケア看護開発学分野を専攻した学生の特別研究指導を行う。 ■主な研究課題 (1)精神障害当事者や家族のピアサポートに関する研究 (2)コミュニティメンタルヘルスシステムに関する研究 (3)院内での患者自殺事故後のスタッフケア（ポストベンション）に関する研究</p> <p>徐 淑子 地域包括ケア看護開発学分野を専攻した学生の特別研究指導を行う。 ■主な研究課題 (1)健康現象および医療の社会・文化的背景に関連する研究 (2)保健行動（予防的保健行動、病気対処行動、受療行動、求助行動等）についての研究 (3)アルコール・薬物依存症、HIV/AIDSのケア・サポートに関連する研究 (4)ジェンダー、セクシュアリティに関連する研究</p> <p>永吉 雅人 地域包括ケア看護開発学分野を専攻した学生の特別研究指導を行う。 ■主な研究課題 (1)香害に関する研究 (2)環境過敏症（化学物質過敏症、電磁過敏症等）に関する研究</p> |
| 事前・事後学習 | 適宜指示する。 |
| 評価方法、評価基準 | 博士論文評価基準に基づき、評価する。 |
| テキスト | 適宜紹介する。 |
| 参考図書・資料等 | 適宜紹介する。 |
| 受講、課題、資料配布等のルール | 研究指導教員の指示による。 |
| 教員からのメッセージ | 1年次早期から計画的に研究に取り組むこと。 |
| オフィスアワー | 木曜日の在室時は、可能な限り対応する。 |